

紫竹学林会通信

2017年12月15日 No.25

2017年度の第33回「紫竹学林会」の会合を2018年1月20日（土）に、大学院棟のある深沢キャンパスにて以下の要領で開催いたします。今回は、本年度地理学科に准教授として着任されました鈴木重雄先生に「竹林の拡大はどこで生じているのか？」と題してご講演をお願いいたしました。なお、本年度は大学院の修士論文の発表会はございません。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、会への出欠を1月12日までにEmailかFaxでご連絡いただきたくお願い申し上げます。

（幹事）

日時：2018年1月20日（土）15：00から

会場：駒澤大学 深沢キャンパス 2階 2-1 講義室

紫竹学林会（講演・総会・懇親会）

【講演】 15：00～16：30

鈴木重雄先生：「竹林の拡大はどこで生じているのか？」

<先生の紹介> 鈴木重雄先生は、立正大学地球環境科学部 特任講師から、今年4月地理学科（地域環境研究専攻）に准教授として着任されました。先生は、専修大学大学院修士課程修了後、広島大学大学院博士課程を修了され、博士（学術）を取得されました。ご専門は植生地理学で、特に耕作放棄と竹林の拡大に伴う地域の諸問題について、地理学のみならず、生態学、林学など多角的な視点から研究されています。その成果は、植生学雑誌25(1)や、景観生態学12(1)、地理学評論83(5)などに数多く発表されています。今回は鈴木先生に最新の研究成果をご講演いただきます。

講演要旨：タケは食用にまた素材にと人が重用してきた植物であるが、人の手が入らなくなった里地で、急激に竹林が拡大している。その拡大には傾斜度や斜面方位といった地形要因よりも、林地や農地の利用中止がより大きく作用していたことを報告する。

【総会】 16：40～16：50（大学院OB会員・院生）：2017年度会計報告，その他

【懇親会】 17：00～19：00

（会員だけでなく学部生や卒業生など、どなたでも参加できます）

会場：駒澤大学深沢キャンパス 洋館小ホール 会費：5000円（院生・学部生：2500円）